

新青丸共同利用研究航海報告書

- * 航海番号 KS-24-1次研究航海
- * 航海名称 (和文) 沖縄トラフ南部で新発見した背弧リフト活動の実態解明
(英文) Elucidation of the newly discovered backarc rifting activity in the southern Okinawa Trough
- * 観測海域 (和文) 南部沖縄トラフ
(英文) Southern Okinawa Trough
- * 航海期間 令和 6年 1月 25日 (木) ~ 令和 6年 2月 3日 (土)
- * 出港日時・場所 1月 25日 10時・横須賀港 (JAMSTEC 岸壁)
- * 入港日時・場所 2月 3日 12時・那覇港
- * 寄港期間・場所 なし
- * 研究課題 沖縄トラフ南部で新発見した背弧リフト活動の実態解明
- * 主席研究員 (氏名・所属・職名・e-mail アドレス ◎は@)
三澤文慶
国立研究開発法人産業技術総合研究所・主任研究員
E-mail: ayanori-misawa◎aist.go.jp
- * 研究内容, 主調査者 (e-mail アドレス), 観測項目
 1. 石垣島北方沖沖縄トラフで新たに発見したグラーベンでの無人探査機「ハイパードルフィン」を用いた海底調査, 三澤文慶 (ayanori-misawa◎aist.go.jp)・石塚 治 (O-ishizuka◎aist.go.jp)・南 宏樹 (hiroakiminami◎gmail.com)・木下正高 (masa◎eri.u-tokyo.ac.jp), 無人探査機「ハイパードルフィン」による海底目視観察・岩石及び堆積物採取・SAHF を用いた地殻熱流量観測
 2. 八重山海底地溝・与那国海底地溝及び新発見した地溝の接続部における海洋地質・地球物理学的調査, 三澤文慶 (ayanori-misawa◎aist.go.jp)・古山精史朗 (sfuruy1◎kaiyodai.ac.jp), 海底地形調査・サブボトムプロファイラー調査・セシウム磁力計を用いた海底磁気観測

3. KH-23-11次航海で亡失したヒートフロー機材の海底状況確認調査, 三澤文慶 (ayanorimisawa@aist.go.jp)・木下正高 (masa@eri.u-tokyo.ac.jp), 無人探査機「ハイパードルフィン」を用いた亡失地点での海底目視観察

* 乗船研究者氏名・所属・職名

三澤文慶・国立研究開発法人産業技術総合研究所・主任研究員

石塚 治・国立研究開発法人産業技術総合研究所・首席研究員

南 宏樹・海上保安庁海洋情報部・火山調査官

木下正高・東京大学地震研究所・教授

古山精史朗・東京海洋大学海洋資源エネルギー学部門・助教

松永都和・東京海洋大学海洋資源環境学部・学部生

森 光貴・千葉大学大学院融合理工学府・大学院学生（修士課程）

石垣秀雄・東京大学大気海洋研究所・技術専門職員

井和丸 光・日本海洋事業株式会社・観測技術員

* 航跡・測点図

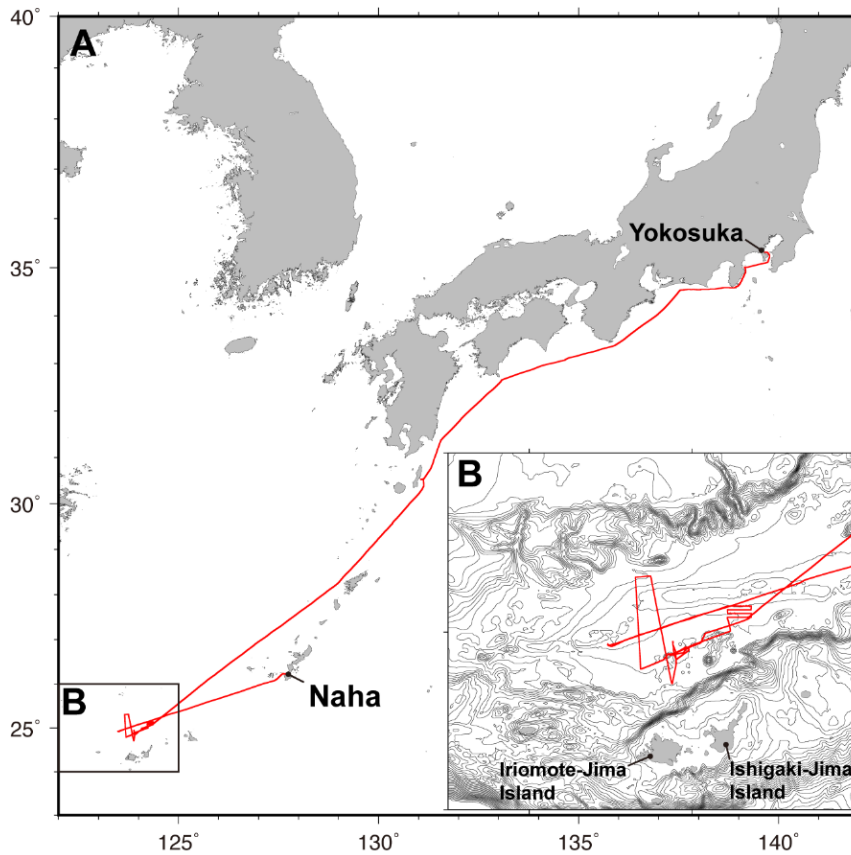


図1 KS-24-1航海航跡図

A. 航海全航跡図, B. 観測エリア拡大図

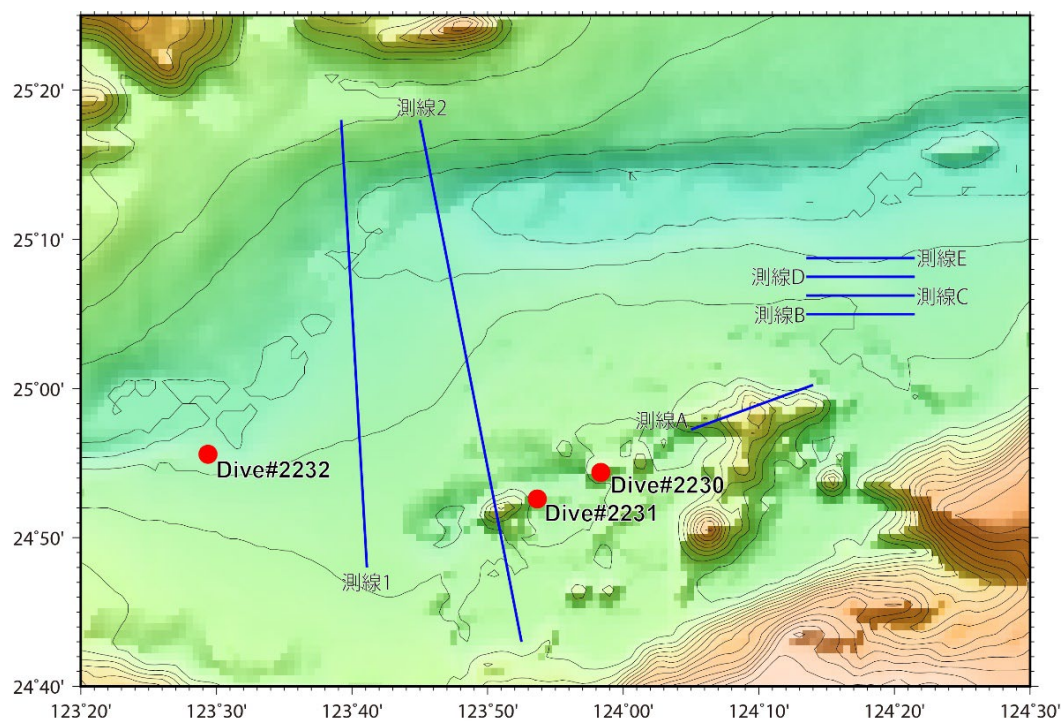


図2 ハイパードルフィン潜航地点及び航走観測測線図